

シュアール <http://www.shur.jp/>

遠隔手話通訳サービス「テルテルコンシェルジュ」提供開始

シュアールは株式会社アールシステムとの業務提携により、テレビ電話を利用した遠隔手話通訳サービスの提供を開始し、6月15日、英治出版ホール(東京、恵比寿)にて記者会見を行いました。



今回の提携により、英語、中国語、韓国語の遠隔通訳サービス「テルテルコンシェルジュ」に手話の機能が追加され、平日の午前9時から午後5時の間、提供されます。「テルテルコンシェルジュ」は、iPad、iPhoneのテレビ電話機能を利用した遠隔通訳で、渋谷駅など公共機関の窓口やホテルのフロントなどに導入されています。

<http://shur.jp/telcon/>

(株)微酸性電解水研究所 <http://www.bisansel.jp/>

FOOMA JAPAN 2012 国際食品工業展 出展
6月5日～8日 東京ビッグサイト 東展示場

(株)微酸性電解水研究所が、東京ビッグサイトで開催された「FOOMA JAPAN 2012 国際食品工業展」に出展しました。今回で3



回目の出展となります。FOOMA JAPAN は、食品製造プロセスに関連する様々な分野の情報交換が行われるアジア最大級の展示会です。今年のテーマは「食の心 ここにあり」で、昨年より21社多い66社が出展し、来場者は4日間で95,000人を超える来場者を集めました。微酸性電解水研究所のブースでは、微酸性電解水生成装置を展示し、装置に取り付けた噴霧器による空気除菌のデモンストレーションも行われ、連日、多くの方が足を止めていました。微酸性電解水(HOCL)は、殺菌効果と同時に高い安全性を備え、特に残留性がないことや対象物への影響がほとんどないことで、食品の洗浄、機械器具の殺菌など食品工業分野はもとより、空気の除菌、加湿、脱臭などの、医療、介護分野など幅広い用途への活用も期待されています。また、HOCLは使用後は自然に分解され、環境汚染・環境負荷も無いため、HOCLの活用が、作業コストと、水・電気など資源消費量削減にも繋がります。エコ・省エネにも貢献できます。今回の展示会でも反響を呼び、展示会後には、問合せだけでなく、数社から商談を受けました。



TEDxTokyo2012 スピーカー 登壇 6月30日

渋谷ヒカリエのイベントホール「ヒカリエホール」で開催された「TEDxTokyo2012」のスピーカーに、シュアール代表の大木氏が選出され、「Tech for the Deaf: How to Search Word in Sign Language」をテーマに7分間のスピーチを行いました。TEDは1984年にアメリカ・カリフォルニア州で始まった講演会で、TEDx(テデックス)は学術・エンターテインメント・デザインなど様々な分野の人物がプレゼンテーションを行うTEDの精神「ideas worth spreading」のもとに、世界各地で発足されているコミュニティです。TEDxTokyoは世界初のTEDxとして2009年より始まり、4回目の今回は、「Where Art Meets Science ～アートと科学が交差する～」をテーマに、シュアールの大木氏の他、映画監督河瀬直美氏、シンガーソングライター加藤登紀子氏等、総勢34名のスピーカーが選出されました。当日会場では500人の聴衆が詰めかけ、日英同時通訳付きでライブストリーミング中継が行われ、視聴者を含めると10万人以上が参加したイベントとなりました。



NPO 法人地域魅力 <http://www.chiikimiryoku.jp/>

2012 ふじさわ産業フェスタ 「藤沢炒麺」出展
5月26日・27日

藤沢市民会館および周辺 秩父宮記念体育館 「産業版地産地消の推進・そして復興」をテーマに、2012 ふじさわ産業フェスタが開催され、藤沢市の商工業製品、先進技術、



サービス、特産品などの展示やPR、被災地や姉妹都市の特産品の販売が行われ、多くの市民の参加で賑わいました。NPO法人地域魅力が飲食ゾーンに参加し、地産地消グルメ「藤沢炒麺」を販売しました。「藤沢炒麺」は、地域魅力が取り組む地産地消の食によるシティプロモーション事業のひとつとして、3年まえからプロデュースしている新・地場産グルメです。使われている麺は、藤沢産の小麦を使い製粉も製麺もすべて藤沢市内で行った藤沢地粉麺で、地元でとれた安心安全な豚肉、旬の野菜が使われています。市内外イベントで販売する他、市内の飲食店の中には、メニューに載せている店もあり、藤沢のB級グルメとして認知されてきています。

(株)サザン音響 <http://www.s-acoust.jp/>

サウンドフェスタ 2012 出展
6月13日・14日 グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)

今回で18回を迎える音響・映像機器イベント「サウンドフェスタ2012」にサザン音響が出展しました。実際に「見て、聴いて、触れて」比較できるイベントで、サザン音響のバイノーラル録音再生技術を多くの来場者が試聴体験し、その高臨場感を実感していました。



入居者の活躍



株式会社サザン音響

事業概要

弊社では、人間の頭や胴体の寸法を平均化した.HATS: Head and Torso Simulator (ダミーベッド)を応用した音響測定機器や、生録(バイノーラル録音)用などのオーディオ機器、またこれらの音響技術を生かした人工喉頭を始めとするアシスト(福祉)機器の研究、開発、製造および販売を行っています。近年、ポータブルオーディオ機器の発達により、小型のヘッドホン/イヤホンの普及による難聴防止のため再生音圧の規制が強化されつつあり、正確な音圧測定機器が求められています。一方で、ノイズキャンセリングヘッドホンの定量的な評価が求められ、測定方法の規格化が進行中です。何れの測定においても、実使用に近い再生音圧やノイズキャンセル量を測定することが必要であることから、IEC国際規格に準拠したHATSを用いた測定が推奨され、弊社の『SAMAR』は多くのAVメーカーや大学等で、研究開発や商品の設計等に使用されています。また、高性能PCMレコーダーやモバイル機器が普及し、ヘッドホン再生が一般化してきたことから、ヘッドホン/イヤホンに適した高臨場感3D録音・再生用機材が求められています。HATSによりバイノーラル収録された音は、2chでありながら自然な3D再生を実現できることから、弊社のレコーディング用HATS『SAMREC』はスタジオ録音、ゲーム用効果音収録、また生録等に威力を発揮しています。



稲永 氏

代表者メッセージ



弊社では、人間がAV機器を使う際に、より快適に、またより高品質の製品を作ることができるよう、さらにユニバーサルデザインを推進するためにも、関連大学との共同研究等で取得した音響技術、ハイテク技術を生かし、平均的人間の聴覚系等を持つ人型シミュレータであるHATS(ダミーヘッド)を供給しています。各種国際規格に準拠した弊社の機材は、日本が生んだ世界標準HATSとして、音響機器メーカーには必須のアイテムになっています。また、高臨場感の3D再生ができるバイノーラル録音再生技術は、個人レベルはもとよりソフト制作面でも今後期待される技術です。これらの技術を生かし、高齢者や身体障害者の方々が明るい日々を送るためのコミュニケーション機器・アシスト機器の研究、開発も併せて行い、バリアフリーな社会を実現したいと考えています。

代表取締役 稲永 潔文

株式会社サザン音響

本社：神奈川県鎌倉市笛田 5-34-18
 開発室：神奈川県藤沢市遠藤 4489-105 209
 TEL：0467-67-9300 FAX：045-330-4136
 代表者：稲永 潔文 設立：2010年7月1日
 資本金：500万円
 URL：http://www.s-acoust.jp/
 お問い合わせ：info.s-acoust@mist.ocn.ne.jp

カルー株式会社

事業概要

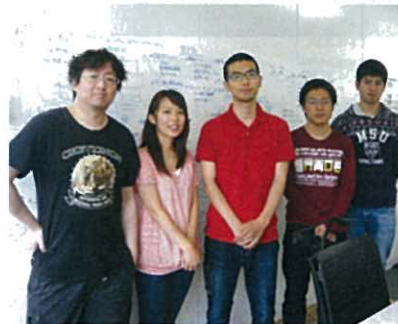
弊社はWebを使って個人(ユーザ)の健康をサポートすることを目的に、医療分野を中心とした店舗、製品、サービスを、ユーザが評価、共有するためのWeb系メディアを開発しています。2010年に病院口コミ検索サイト『Caloo』東京版をオープン。2011年7月に全国版を、11月に動物病院口コミサイト『CalooPet』をオープンしました。全国16万を超える病院から、最適な治療が受けられる最適な医療機関が見つけれ、ユーザから寄せられた病院口コミ情報を集約し、病院、病気に関わる定量的なデータを検索しやすい形で提供しています。エリアやキーワードの大分類に加えて土日営業や早朝・夜間・救急対応の可否、女医・駐車場の有無など細やかな条件からもデータ抽出が可能で優れた検索性能を持っています。病院別病気別治療実績の検索も可能で、また、会員登録されたクリニックの無料掲載や、歯科医に直接質問できる『歯科医Q&A』の掲載も行っています。

代表者メッセージ



ユーザがよりよい医療を受けるためのプラットフォームになるべくCalooを立ち上げました。ユーザがよりよい医療を選択した結果を共有化することでよい医療を受けられるだけでなく、医療を提供する側にも変化を与えられればと思っています。

代表取締役 具志林 太郎



代表の具志林氏(中央)とスタッフのみなさん

カルー株式会社

本社住所：目黒区中目黒 1-1-26
 TEL：03-6303-1471
 代表者：具志林 太郎
 設立：2010年3月15日
 資本金：990万円
 URL：http://caloo.jp/

中小機構 新人IM研修 4/17



1階会議室で施設説明

中小機構関東の新人IMとサポート課の合わせて15名が、オリエンテーションのプログラムとして、SFC-IVを視察。

フィンランドからの藤沢市来賓 6/19



シュアールの居室訪問

Otaniemi Marketing Ltd. のアリ氏とレイ氏他JETROから3名が同行し施設を見学スペースリンク、Studio Ousia、音力発電の代表者から事業説明を受け、またシュアールの居室も訪問。

※その他イベント 5/17 SFC-IV 第11回幹事会 5/30 入居者交流会(新入居者紹介) 6/4 SFC-IV 第10回運営委員会